

登録コード	E0600902	開講年度	2026				
授業科目	音楽基礎C					担当教員	井田 勝大
英文授業名	Fundamental Music C					副担当	
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	月曜・4時限	対象学生	2・4年生
講義室	教育N301講義室			授業形態	講義	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				⇔	【授業の達成目標】	
	26Eカリ, 25Eカリ, 24Eカリ, 23Eカリ, 22Eカリ, 21Eカリ, 20Eカリ						
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観				⇔	学校音楽教育における音楽科の特性を捉え、教員としての使命感を持つようになる。	
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能				⇔	合唱・器楽・音楽理論の専門的見地から学校教育に生きる指導法の理論、知識、実践的方法について習得する。	
(2)授業で学べる「テーマ」	芸術文化、多文化協働						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	歌唱、器楽、音楽づくりなどの表現活動および鑑賞活動の際に必要なとされる音楽の基礎的な知識や技能を高める。特に楽典に関わる知識や歌唱や楽器奏法の技能を高める。なお、音楽の歴史を概観する中でさまざまな音楽を鑑賞したり、小学校で扱う音楽科の教材の指導のポイントをおさえたりする。						
(5)授業計画	第1回：ガイダンス、楽譜の読み方、書き方等基礎的事項の確認【遠隔等】 第2回：音符、休符、記号や音楽に関わる用語 第3回：拍子とリズム 第4回：音程 第5回：音階と調性① 第6回：音階と調性② 第7回：コード進行の仕組み 第8回：コード進行に基づいた伴奏付けの演習 第9回：読譜練習①(合唱) 第10回：読譜練習②(合唱) 第11回：読譜練習③(器楽) 第12回：音楽史①【遠隔等】 第13回：音楽史②【遠隔等】 第14回：読譜練習④(器楽)発表試験 第15回：楽典のまとめ、授業アンケート回答 ※オンライン授業の教育効果が見込まれる内容については、オンラインで実施する場合もある。						
(6)成績評価の方法	(i)楽典の基本的な知識に対する筆記試験(60%) (ii)読譜練習の習熟度(20%) (iii)提出物(10%) (iv)授業への参加状況(10%) 上記事項を総合的に評価して判定する。						
(7)成績評価の基準	(4)の(i)から(iii)の知識および技能に関する評価が極めて高くかつ(iv)が極めて高い評価だった場合は「卓越している」、(i)から(iii)の知識および技能に関する評価が高くかつ(iv)が高い評価であった場合は「かなり上にある」、(i)から(iii)の知識および技能に関わる評価が一定水準以上かつ(iv)の評価が標準的であった場合は「やや上にある、(i)から(iii)の知識および技能に関する評価が水準にありかつ(iv)について標準的であった場合には「標準にある」と評価する。 得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀, 89-80% 優, 79-70% 良, 69-60% 可, 59%以下 不可。						
(8)事前事後学習の内容	音楽初心者にとって楽典は難解な部分も多いため、授業内容をよく復習しておくこと。また、器楽発表試験を行うため、課題曲について練習しておくこと。 この授業は90時間の学修を必要とする内容である。従って、60時間以上の時間外学習が必要となる。						
(9)履修上の注意	器楽においては発表試験を行うため、合格ラインに達するよう授業時間外に個人練習をしておく必要がある。 各自ソプラノリコーダー、またはアルトリコーダーを準備すること。						
(10)質問、相談への対応及び連絡先	ida_katsushiro@shinshu-u.ac.jp						
【教科書】	資料・楽譜は必要に応じて配布する。						
【参考文献】	適宜、紹介する。						